

# 野田ゆずる 議会レポート

## 令和7年第2回定例会報告

連絡先：事務所

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103

Tel&Fax 022 (739) 9630

<https://www.y-noda.net>

[info@y-noda.net](mailto:info@y-noda.net)

■ご意見等がありましたらお気軽にお寄せください。



今回の議会レポートは、令和7年第2回定例会報告です。

第2回定例会では、市長から、1か月児健診の公費負担や学校給食のまかない材料費の補正予算など20件の議案が提出されました。

代表質疑では、物価高騰対策、都心部におけるまちづくり、大型公共事業の効果検証、西公園への屋内遊び場の整備、4病院再編への対応など、本市の重要施策等について議論が交わされました。

一般質問では、防災庁の誘致、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備、米価高騰と農業支援、地域公共交通の課題、メガソーラー建設抑制、学校プールと水泳授業の在り方、いじめ対策、不登校支援、大手門復元など、幅広い分野で質問がありました。

### 令和7年第2回定例会 自由民主党代表質疑より

#### 屋内遊び場に関する補正予算について

**質問** 交通計画調査の目的内容は如何か。

**答弁** この調査は、屋内遊び場の整備等に伴う周辺交通への影響を把握し、交通課題の改善について検討することを目的に実施する。具体的には、現状の車両や歩行者の交通量などの実態を調査し、整備後の交通量シミュレーションを行うことで、利用者の安全で円滑な施設利用に向けた道路交通などの対策を検討していく。

#### 屋内遊び場の駐車場整備について

**答弁** 駐車場整備に向け、車や地下鉄などによる来館を見据え、アクセス環境の向上に向けた取組を幅広く検討していく必要があり、駐車場の確保は、多くの子育て家庭にご利用いただく施設として重要であり、計画を進める中で、利用者数の見込み等と合わせ、対応策を整理していく。

また、保育所等の団体利用を促進する観点から、大型車両への対応も必要と考えており、バスの乗降場所の確保策などについても、施設の整備内容と合わせて、検討を進めていく考えだ。

#### 屋内遊び場整備に向けた進捗と今後のスケジュールについて

**答弁** 本施設は、皆様からのご期待の声にお応えすることに加え、日々成長することの健やかな育ちを支えるうえでも、ス

ピード感を持った取組を進めることが重要と考えている。

今年度は、基本計画を



屋内遊び場のイメージ

策定する方向で、これまで、小学生以下のこどもを持つ保護者向けアンケートや、関係審議会への報告などを行っているところで、今月16日からは、仙台こども財団が実施する「こどもいけん広場」を通じた、こどもの声を聴く取組も開始予定だ。

このような取組も踏まえながら、基本計画の案として早期に示す考えだ。

今後も、屋内遊び場の整備に関するシンポジウムの開催や、有識者の方へのヒアリングなども行いながら、基本計画の策定を着実に進め、早期の施設整備を目指していく。

#### 1か月児健康診査の補正予算案提案に至った理由について

**質問** 新たに1か月児健診を加える目的と効果について

**答弁** 令和6年12月に、国から「1か月児健康診査実施マニュアル」が発出され、実施方法や体制、診療内容の詳細等が示されました。このマニュアルを基に、仙台市医師会とも協議を行いながら実施内容等

の精査を進め、この度準備が整ったため、補正予算案の提案に至った。

出生から1か月は、先天性疾患の症状が顕在化する重要な時期であり、この時期に医師による健診を実施し、養育環境も含めた評価を行うことにより、妊娠・出産期から子育て期に至る切れ目のない支援をさらに強化することを目的として実施する。

加えて、本市の健診として実施することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、各区総合支所で実施する関連施策や保健指導への健診結果の活用、さらに、未受診者への早期介入による虐待の予防など、幅広い効果が期待できるものと考えている。

### 出産費用の無償化について

**質問** 妊婦健診の更なる負担軽減については如何か。

**答弁** 結婚・出産・子育てを希望する方が、その希望をかなえられる社会の実現は、少子化対策の観点からも重要で、経済的な負担を軽減していくことが、その一助になるものと認識している。

出産費用の無償化は、先般、国の検討会において議論がなされ、具体的な制度設計にあたっては、産科医療機関等の経営実態等にも十分配慮して進められるものと考えている。

また、妊婦健診については、本市では、令和6年度に助成回数を14回から16回に拡充するとともに、助成上限額の引き上げを行った。

この取組により、令和6年4月1日時点での妊婦1人当たりの公費負担額は、全国平均が10万9,730円のところ、本市では13万5,290円と、高い水準の支援を確保している。

引き続き、国の動向や他都市の状況を確認しながら、妊娠・出産に係る負担軽減のあり方について考えてまいりたい。

### 出産費用無償化のイメージ (検討中)

| 公的医療保険                  |                                                                                                  |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 適用                      | 適用外(案)                                                                                           |
| 金額の水準など<br>詳細は今後<br>詰める | <ul style="list-style-type: none"> <li>お祝い膳</li> <li>記念撮影</li> <li>足形</li> <li>エステ など</li> </ul> |

網の一部を形成しており、東北をけん引する仙台都市圏の産業の発展に向けた広域道路ネットワークの更なる強化につながるものと考えている。

仙台都市圏における東西方向の交通量の確保や物流機能の強化などに加え、広域的な交流や新たな活力創出など、市内にとどまらない大きな効果が期待できる重要な道路と認識している。

今般、国が5年ぶりに開催した有識者会議では、具体的なルートの候補が新たに示されるなど、計画策定に向けた検討が動き出したものと受け止めており、本市としても、早期整備が図られるよう、引き続き、国や県などと連携しながら取り組んでいく。

### 統廃合の可能性がある地域、学校数について

**質問** 人口増地域の学区見直しの状況については、如何か。

**答弁** 児童生徒の教育環境の維持・向上の観点から、学校規模の適正化を図ることは重要だ。

小学校では6学級以下、中学校では5学級以下の学校は、すでに統合を予定している秋保小学校などを除き、昨年5月時点で、小学校が12校、そして中学校が7校あり、統合については地域等の状況を踏まえ、丁寧な意見交換を重ねて検討することとしており、現段階では具体的な協議にまで至っている学校はない。

一方で、31学級以上の過大規模校は、小中学校あわせて9校あり、地域の実情も踏まえながら学区変更や学校の分離新設の検討も行った上で、校舎の増築等により対応を行っている。引き続き、学校や地域の状況に応じ、学校規模の適正化に向けた取り組みを進め、児童生徒のより良い教育環境を確保していきたい。

### 複合施設の整備について

**質問** 災害文化の創造拠点としてのコンセプトと、複合施設整備にあたっての意気込みは如何か。

**答弁** 中心部震災メモリアル拠点は、未曾有の震災から復興を果たした本市の経験を原点とし、災害から立ち上がる市民とまちのノウハウを、地域や時代を超え世界に発信する災害文化の創造拠点だ。

震災から2週間後の3月26日、いまだ余

### 仙台東道路について

**答弁** 仙台東道路は、全線開通した常磐道、三陸沿岸道路などとともに、高規格道路



複合施設の外觀イメージ

震が続く中始まったメモリアルコンサートは、現在まで1,000回を超えて開催され、被災された方々を癒し、また勇気を与えてきた。その活動を続けてきた仙台フィルが、この施設を本拠地とすることで災害から立ち上がるまちの象徴となり、音楽の力を世界に発信できると考えている。

演奏を楽しみに訪れる方が災害文化に触れる、また災害文化に関わる方が音楽や芸術活動に参加する、そのようにして交流の幅を広げる施設は音楽ホールと中心部拠点の複合であればこそだ。

音楽を愛する多くの方が長年望まれてきたトップクラスのホールを実現するとともに、音楽や芸術の力を生かし、困難を乗り越えていく本市ならではの文化を発信する世界に類のない施設に向け、強い決意をもって取り組んでいく。

## 宿泊税について

**質問** 施行に向けた準備状況は如何か。

**答弁** 周知・広報については、制度の内容や税の用途などを簡潔にまとめた多言語のリーフレットやポスターを作成して、市内の全ての宿泊施設や観光施設等に送付しているほか、旅行会社にも周知への協力をお願いしており、今後は、東京駅や主要な空港など全国での広報を展開していく。

また、宿泊事業者の皆様に対しては、レジシステムの改修にかかる補助制度の運用とともに、徴収事務等に関する相談会も開催するなど、個別の事情を伺いながらきめ細かな支援に努めているところだ。今後とも、宮城県と連携を図りながら、円滑な導入が図れるよう、準備に万全を尽くしていく。

**質問** 新たな協議組織はどうなっているのか。

**答弁** この協議組織は、宿泊関係団体の代表者や観光関連事業者、経済団体などで構成し、宿泊税の用途やその事業効果を検証し、次年度に向けた観光施策の方向

性について議論いただくもので、今年8月頃には立ち上げたいと考えている。

また、これとは別に、宿泊事業者の方々のみで構成する連携会議を設置し、宿泊税の用途のほか、徴収等に係る運用面での様々な課題について意見交換を行う考えだ。こうした会議体での議論のほか、市内全ての宿泊事業者の方へのアンケートなども行う予定であり、様々な手法により宿泊事業者をはじめ、関係の皆様のご意見を丁寧に向いながら、制度の円滑な運用と効果的な施策展開を図っていきたい。

**質問** 今後の観光振興は如何か。

**答弁** 今年度から新たな観光戦略をスタートさせ、宿泊税の活用により、中長期も見据えて、ポテンシャルの高い観光資源への思い切った投資を行うことで、国内外から選ばれる観光都市・仙台へとステージを引き上げていきたいと考えている。

とりわけ、インバウンドの獲得は一層力を入れていく必要があり、仙台・東北の風土や精神文化、アニメなどのカルチャーに欧米の方々を惹きつける大きな可能性を実感したところで、明日からの大阪・関西万博での東北絆まつりも契機に、インバウンドの市場開拓も積極的に展開していく。

今年度計画している施策をスピード感をもって着実に進め、さらにその先も見据えて、観光都市・仙台として人々を惹きつけながら、東北の魅力ある資源をつなげ相乗効果をもたらすことで、東北の持続的な発展に貢献していきたいと考えている。



仙台観光イメージ

## 中央卸売市場の再整備について

**質問** 中央卸売市場再整備に伴い、使用料上昇への今後の対応は如何か。

**答弁** 先日の検討委員会でお示した、再整備後の市場施設使用料は、概ね施設規模等がまとまったことから、他市場の事例を参考に概算事業費を試算し、それを基に算出したものだ。今後、施設規模や設備の内容の精査等、協議・調整を重ねながら、できる限り使用料の負担軽減を図り、事業者の皆様が安心して新しい市場をご使用いただけるよう努力していきたい。

**質問** 市場への交通アクセスや特色ある市場開設については如何か。

**答弁** 市場の再整備にあたっての基本構想においては、東北の拠点市場として、食の体験を通じた集客・情報発信機能の強化を基本コンセプトの一つとして掲げており、賑わい・集客施設の整備などを通じ、市民や観光客に親しまれ魅力ある市場とすることが重要と認識している。

この賑わい・集客施設は、再整備後に生じる余剰地を想定して、現段階では、市場全体の工事が完了する令和19年度以降に活用が可能と見込んでいる。そのため、市場への交通アクセスの課題も含め、再整備事業の進捗を見据え、具体の検討を進め、観光資源としての魅力も高められるよう努めていきたい。

#### 石垣復旧関連について

**質問** 復旧にあたっての苦勞と今後の災害時の工期圧縮については如何か。

**答弁** 今回の災害復旧にあたっては、文化的価値と安全性の両立に大きな課題があった。再び同規模の地震があっても崩落させないことを目指し、現代工法を取り入れるにあたり、考古学や地質工学、地盤工学等の専門家の意見を伺いながら施工内容を精査しており、検討と調整に最も時間を要した。今回行った地盤調査や土質調査、現況測量などの各種データや究明した被災メカニズムに基づく工法の知見は、万が一、再度被災した場合にも活かせるものと考えている。



復旧された石垣

#### 臨時交付金の配分と物価高対策等について

**質問** 国の臨時交付金の配分と物価高対策は如何か。

**答弁** 今回の本市への臨時交付金の配分額は3億264万1千円であり、約19億円が配分された前回のような規模の対策を講じることが難しい。

施策の優先度や緊急性を考慮し、まずは、質・量を保った学校給食を提供するための材料費や、不透明な国際情勢により停滞が懸念される地域経済活動への支援策を、急ぎ、追加で講じることとした。

昨年末から実施をしている物価高対策では、住民税非課税世帯への給付金や地域企業向けの物価高克服・賃上げパッケージなど、一部、年度をまたいで実施している事業もあることに加え、この度、国において、電気・ガス料金やガソリン価格の抑制といった各般の物価高対策が進められている。

こうした施策の効果や物価の状況を見つづつ、国における更なる経済対策の動向等も見極めながら、時機を逸することなく、必要な措置を講じてまいりたい。

#### 市長の任期の総括について

**質問** 市長任期の振り返りと次期市長選への対応はどのようにお考えか。

**答弁** 私は市長就任以来、「まちの中心はひとである」との思いのもと、一人ひとりの市民の皆さま方が活躍をできるまちづくりの実現、これを第一に市政運営に臨むこととしてきた。また、併せて本市の持続的な発展や、人々の活躍の舞台となる都市整備、都市基盤の整備、そしてまた、世界に向けた発信強化に取り組んできたところだ。

私の市政運営に対し、市民の幅広い皆さま方から温かく力強い期待の声を伺う中で、熟慮を重ね、私は、ふるさと・仙台の未来を確かなものにするために、引き続きその責任を果たしてまいる決意を固めたところだ。

このまちの持つポテンシャルを最大限に生かし、仙台、また、東北の未来を切り拓く、その先頭に立つ覚悟です。

誰もが自分らしく輝き、誇りをもって暮らし、仙台に暮らしてよかったと実感していただけるまちづくりを進め、国内外から人がつどい、そして、魅力と活力にあふれるまちの実現に向けて、弛まぬ歩みを続けていく決意です。

その他にも、

- 大都市制度、
- 国庫補助金の採択状況、
- 4病院再編、
- アジア太平洋防災閣僚級会議の仙台開催と防災庁の誘致、
- パスポート事務の権限移譲 等について多岐にわたり質疑を行いました。